



NPO法人
堺観光ボランティア協会ニュース
10月号(通算281号)
2020年(令和2年)9月25日発行

発行：NPO 法人堺観光ボランティア協会
理事長 山田 豊秋
〒590-0077 堺市堺区中瓦町 2-3-29
TEL&FAX：072-233-0531
e-mail：sakaikvk@axel.ocn.ne.jp
URL：<http://sakai-kanbora.org/>



巨大壁画の裏には話題が盛りだくさん！！そしてお宝も、、、



上のワイドの写真は、堺区柳之町西にある株式会社ダイネツの高さ5mを超える防音壁です。仁徳天皇陵や千利休などの堺の顔が描かれています。

今回は沢山の興味深いお話を、代表取締役会長の葛村和正さんに聞かせて頂きました。会長は現在堺商工会議所の会頭を務められています。大変お忙しい中、インタビューをさせて頂きました。

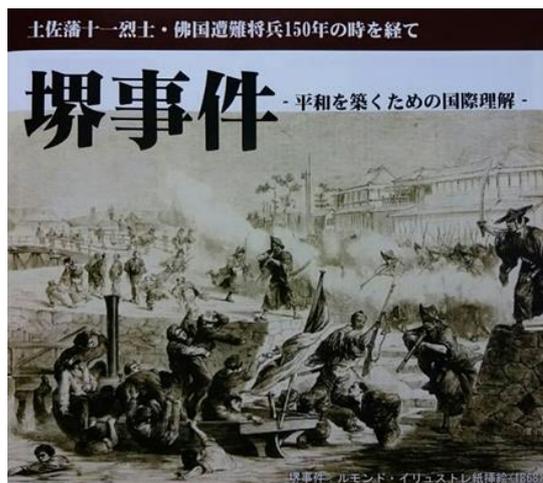
まず、写真で会長がお持ちの手形は文化10年(1813年)に役所から交付された「鍛冶炭問屋」の手形です。この1813年が株式会社ダイネツの前身「葛籠屋(つづらや)」の発祥の証になります。

しかし会長のお話ですと、さらに200年以上前の室町時代から「葛籠屋」は存在していたようです。残念ながらその証拠が戦災などで発見できないので、この手形の発行された1813年を創業

年としているそうです。現在は堺市博物館の白神学芸員に調査をお願いしているそうです。また、鉄砲鍛冶屋敷の調査にも注目されているそうです。

さて先祖の初代葛籠屋安兵衛は土佐から入る木炭の大半を扱っていました。高知土佐からは、従来の瀬戸内海経由ではなく外海経由で荷を運んでいて、これが土佐と堺の縁のはじまりとなりました。刀鍛冶や鉄砲鍛冶は大量の木炭を消費しました。堺の伝統産業の刀、包丁を裏で支え続けていたのが「葛籠屋」さんだったのです。

その縁から土佐藩士の後藤象二郎(初代大阪府知事)と姻戚関係にあり、岩崎弥太郎(三菱創始者)とも大変親交が深かったそうです。ところで皆さん、堺と土佐というと何を思い浮かべますか？そうです1868年に起きた堺事件を思い浮かべると思います。堺と土佐の縁はこの炭が結んだ縁だったのです。



昭和の時代、戦前に話は飛びますが、葛籠屋さんは熱処理の会社に変身していきます。

戦前の当時に扱っていた、コークスや練炭が国家事業統制され、その権利がすべて現在の大阪ガスに移管されてしまいました。手元に残ったのは石炭を乾留する「炉」だけでした。そしてその「炉」を利用して軍用機のプロペラや機械部品の熱処理を始めました。会社名も大阪兵器熱工と改称し、後にダイネツとなりました。

皆さんは熱処理という言葉はあまりなじみがないかもしれませんが。熱処理というのは平成になってから認定されるようになった加工技術です。

鉄製品を製作する場合、鋼を加熱、冷却しながら、焼き入れ→焼きなまし→焼きならし→焼き戻し、等の複雑な工程を通して、顧客の注文にあわせた製品を作っていくそうです。これが熱処理加工です。



EXPO70' タイムカプセル

その代表格のものを二つ紹介します。1970年の大阪万博の時にタイムカプセルを作って地中に埋めたことを皆さんは覚えていますか？今でも大阪城公園に埋められています。この熱処理を請け負ったのがダイネツさんです。機会がありましたら是非とも寄っ

てみてください。

てみてください。

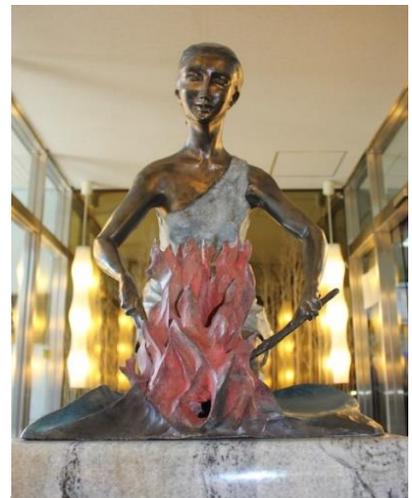
そしてもう一つ、最近の話になりますが東京スカイツリーです。スカイツリーの第一展望台を支える為に、より強度ある鋼材を大手鋼材メーカーと共同開発したそうです。日本を代表するランドマークを作ったのです。

昔は堺の地場産業を支え、現在はこの熱処理技術を活かし、産業界の縁の下の力持ちとしての役割を果たしている会社、こんな素晴らしい会社が我々の町堺にあるのです。

最後にダイネツさんが持っているお宝を紹介します。スペインのバルセロナにあるサクラダファミリア、1882年から今でも造り続けているカトリック教会です。その彫刻部門の専任担当者が日本人の世界的な彫刻家の外尾悦郎さんです。ネスカフェのテレビCMの「違いがわかる男」でも話題になりました。

葛村会長がその外尾悦郎さんにご縁があり、創業200年記念の時に、「炎の女神」像を造ってもらったそうです。

その美しい光を放つプロ



炎の女神 (外尾悦郎・作)

ンズの像が本社に置かれています。

(川上 由)

★ 10月号 インデックス (目次)

巻頭言 巨大壁画の裏には話題が・・・	P1	「明治時代以降の古墳保護のあゆみ」研修に参加	13
インデックス(目次)	2	トピックス『南蛮資料から見る堺と天下人』	14
事務局ニュース・企画部ニュース	3	堺産自転車タクシーによる観光周遊がスタート!	15
総務部ニュース・事業部ニュース	4	アラカルト「戦国体験ワークショップ」レポート	16
研修部ニュース	6	「撮るさかい、見てある記」JA CROP こぼれ話(5)	17
定点ガイド部ニュース	7	写真ニュース 諏訪の森旧駅舎の再出発	17
ツアーガイド部ニュース・広報部ニュース	9	10月度月間予定表	18
原稿募集・インフォメーション・ガイド便利 MEMO	10	8月度ツアーガイド実施報告・編集後記	19
3か国語でお出迎え(語学同好会)	11	8月度活動実績と内容	20
企画展 蔵の扉を開いて見れば鉄砲鍛冶屋敷 講演会	12		

事務局 ニュース

★ 理事会を9月7日に開催しました

内容は以下の通りです。

●20年度収支見通し及び経費削減の進捗状況

「2020年7月末予算実算対比表」「2020年度収支見込み表」「2020年度収支改善策(案)」を審議いたしました。

7月末までの収入はコロナ禍の影響で大きく前年を下回りましたが、経費削減策の実行や持続化給付金の申請により収支は小康状態を保っています。

また、年度見通しは8月～3月収入減があるものの、各部の費用削減策により年度では経常収支は確保できる見通しです。

最後に今後のコロナ感染による収支悪化に備えて、追加の収支改善策を準備しておく必要がある事を確認しました。



企画部 ニュース

☆ 南海歴史探訪ガイドウォーク

9月14日(月)大阪狭山市で三密を避けて代表者のみの例会がありました。

当日の会合で残念ながら予定されていた10月24日(土)第3回大阪狭山市さやか観光会のイベントの中止が決まりました。

今後の予定11月28日(土)第4回住吉区すみよし歴史案内人の会と、延期されていた第1回堺観光ボランティア協会は2021年3月に実行する予定ですが、状況により中止も視野に入れながら慎重に準備を進めています。

開催の際は、マスクは必携・受付係はフェイスシールドを着用、リーダーは自主消毒・非接触型体温計での測定、ソーシャルディスタンスを守って開催します。

☆ 留学生対象の堺まち歩き

堺市留学生交流実行委員会から11月7日(土)留学生対象に限定20名で仁徳天皇陵古墳・堺市博物館の案内ガイド要請があります。要請を受ける予定で打合せを進めています。

総務部 ニュース

★ 会員の状況

<9月1日 現在>

正会員数 244名・賛助会員数 6名・総会員数 250名
(前月からは会員の移動はありません。)

★ 『新年祝賀会』中止

2021年『新年祝賀会』は諸般の事情により、開催中止とさせていただきます。

★ 返却・型落制服の無料配布

返却・型落制服の無料配布ご協力ありがとうございました。
配布決定者の方、ご都合の良い時にオフィスまで取りに来てください。

★ 阪堺線運賃改定

阪堺線運賃改定に伴う個人申請はシステム対応しますので、会員からの申請は不要です。

☆ 上期会費払込依頼

9月交通費から控除できなかった会員宛て上期会費の払込案内をしますので、速やかに3,000円の払込をお願いします。

☆ 活動交通費について

バス路線により時刻表改定があり、著しく利便性が低下するなどの理由により交通費原票の変更を希望される方の申請を受け付けます。
該当者には交通費原票を配布しますので総務へ申出て下さい。

事業部 ニュース

★ 山之口プラザの配置変更

山之口プラザの配置を現在の水、金、土、日の週4日から、10月より、日曜日を減らし、水、金、土の週3日に変更いたします。

★ 出前授業の報告

昨年に引き続き堺の子供たちに、堺の古墳のすばらしさ、誇らしさを伝えていきたいと思っていました。しかし学校ではコロナの影響で3か月も休校になり、それを取り戻すため、夏休みを短縮したり、各種の行事を中止して授業時間数を確保し内容を平年通りに教えることが重要で、新しいことに取り組むことがなかなか難しい状況です。

◀ 事業部ニュース 次ページへ続く ▶

その中で新金岡東小学校から申し込みがあり、8月27日(木)に、事業部のメンバー3名で26名の6年生に出前授業をすることができました。内容は

1. きつね山古墳の紙芝居
2. 仁徳天皇陵古墳のすごさ
3. その作り方(設計、墳丘作り、葺石はり、埴輪作りと設置、石室、石棺作り)
4. だれが1,600年守ってきたのか
5. まとめ



という順序で授業を進めよく聞いてもらい質問を受けたりしました。その中で、一部教室にある大型テレビに映して見てもらいました。大きく映り見やすいので、これからの参考にしたいと思います。

*授業後の児童の感想

- 古墳がどのように出来たのかよくわかった。これから大山古墳をシンボルにして堺がもっと有名で人気になったらいいなと思った。そして、私たちがこれからも古墳を守っていこうと思った。
- 授業では、こふんを勉強しないので、とてもくわしく聞けてうれしいです。みなさんの持っている物が、とても見ていておもしろくて、こふんのバックにこふんのピアス。こふんが好きなことがよく伝わってきました。授業ありがとうございました。
- 初めて、古墳の造り方を知れて良かったです。やっぱり、昔の人はすごいなと思いました。全て自分たちですべて・・・。私は造れと言われても多分失敗して怒られて役に立たないと思います。でも、昔の人は一生けんめい造ってて、すごすぎます。しかも、分かりやすかったです。
- こふんの作り方をくわしく知れました！知らないこともいっぱい、楽しかったし、わかりやすかったです！また機会があれば他のこともたくさん知りたいです。紙しばいの絵もかわいくてよかったです！
- 石室・石棺にも使われている竜山石は、高砂市に行く時、見たことがあります。すごい石はだが見えて、ほぼ垂直になっていました。この授業を受けて、古墳の知識をたくさん知れました。すごく勉強になったのでよかったです。
- 仁徳天皇陵古墳(大仙)はいろいろな人たちの力で作りあげたものだとわかり、むかしの人たちは、すごい人たちだったと理解しました。
- 仁徳天皇陵古墳(大仙古墳)に使われたはにわの数がすごく多くて、3万個もつくったんやなとおどろきました。キツネ山古墳のことは全く知らなくて今日初めて知ったのでちゃんと話を聞いてよかったですと思います。あとすんごいどうでもいいけど卑弥呼さんのイヤリングが素敵やったから、今度私も作ってみようと思います！！まがたまと着物(?)もきれいかったです。

等々、古墳の授業を楽しんでくれ、古墳に興味を持ってくれたようでした。

事業部 谷川 正知

研修部 ニュース

★ 全体研修会について

全体研修会(明治以降の古墳保護のあゆみ)は、2020年9月8日(火)と18日(金)に予定通り終了しました。コロナ感染予防対策で密を避けるため、両日とも80人定員の会場に40人の参加としました。参加希望多数のため抽選をおこない、計30人以上の方は落選となりました。落選された方にはたいへん申し訳ありませんでした。

尾谷雅比古先生には、江戸時代の天皇陵の整備から明治以降の古墳保護行政の実態をお話しいただき、今までとりあげたことのなかったテーマでしたので、参加された方々からは好評でした。また、百舌鳥古墳群の塚廻・収塚・長塚古墳についてもお話し頂きました。長塚古墳には「長山古墳」名の石碑がありますが、これは史蹟指定当時、大阪府が古墳名を間違えたというのが真相だそうです。

広報部に記録を撮っていただきましたし、資料もありますので、ご希望の方は松浦まで連絡下さい。

☆ 各種研修会申込みについてお願い

これまで、研修部主催で全体研修会、会員交流会などを実施してきましたが、今年度はコロナ禍の影響で、定員の規模縮小、計画中止となっています。

来年度以降もこの状態が続く可能性もあります。

あらためて、会員の皆様に申込み方法と、参加までの流れの確認をお願いします。

1. 研修等についての告知⇒⇒協会ニュース本文あるいは別紙書面にて行います。
 2. 研修への申込み⇒⇒次月活動予定表内「各種行事予定表」の出欠欄に○印。この段階では参加は決定していません。定点配置希望日と重複がないか要確認。
 3. 参加人数多数で抽選の場合⇒⇒抽選結果のお知らせ方法は協会ニュース等で告知します。参加可能かどうかは、研修部からのメールその他連絡で確認してください。
 4. 決定後、キャンセル等の場合は必ず研修部まで連絡をしてください。
 5. 研修当日に参加予定者以外の方が来られた場合、会場の定員の関係で入場できないこともあります。また、資料がないこともあります。
- コロナ禍での3密防止対策のためにもご協力をお願いします。



定点ガイド部 ニュース

★ 報告・連絡

1. 堺伝統産業会館の活動日が、4月より毎週水曜日と土・日・祝祭日から毎週土・日曜日と祝祭日に変更になりましたので、活動日の変更のみの活動マニュアル改訂を行いました。
2. 8月21日に自転車博物館定例連絡会を開催しました。
打合せ事項 *自転車博物館入館者状況
*新自転車博物館進捗状況
3. 10月1日より展望ロビーの定点活動を再開します。

★ 9月12日にメール形式で全体会議をおこないました

下記は、各定点の8月の「日誌」から抜粋したものを掲載しています。

Aグループ (古川 邦敏)

*大仙エリア (担当：重永・福島)

- ・群馬からの男性2人。「エジプトのピラミッドも秦の始皇帝陵も見てきました。本日で世界三大墳墓すべて見ました。ピラミッドも大きかったが、仁徳天皇陵古墳も大きい。すごいなあ。」
- ・川崎市からの男性1人。「市役所から歩いてきました。21階展望ロビーからの見学が出来なくて残念でした。」⇒9月8日から再開です！
- ・東京からの方に仁徳天皇陵古墳の大きさについて案内すると、「ドイツにある世界最大の広さを持つハノーファー国際見本市の展示会場の広さ50万平方メートルとほぼ同じ位ですね。大きいですね。」

*さかい利晶の杜 (担当：柳・波多野)

- ・英彰小学校6年生の女の子と母親。小学校が今日から夏休み(10日間程)で晶子に興味があったので見学に来られた。
- ・フェイスシールドとマスクで人相が悪く見えるのか、案内のお声がけをしても3組のお客様に断られた。
- ・大阪市の女性2名は、与謝野晶子のスペイン風邪の記事を新聞で読まれて来館された。

*千利休屋敷跡 (担当：平野・伊藤)

- ・京都からの男性。歴史好きで堺の有名なスラスラ口に出る程。鈴木貫太郎(第42代総理大臣)が幼少期堺に住んでいた事をご存知。自分の目で堺を確かめたかったとの事。
- ・お孫さんに頼まれたご主人が、ガイドの声を録音し様々なものを写真にとっていかれました。千家供養塔の話聞き、南宗寺にも行って下さるそうです。

*山口家住宅 (担当：大北・南野)

- ・千葉の男性。「堺と言うと仁徳天皇陵古墳くらいと思っていましたが、他にも色々見所があり、凄いですね。」
- ・豊中と堺の女性。新聞で「注染」の記事を見て来館。注染の手ぬぐいの美しさに感動。伝統産業会館で購入予定。また、400年前の建物とは思えないくらいオシャレで機能的。土間の足触りも快適と言われる。

◀ 定点ガイド部ニュース 次ページへ続く ▶

***清学院 (担当：辻・古川)**

- ・大阪市内の中学生5名と付き添いの先生3名。自由研究で河口慧海を調べるとの事で説明を行う。なぜ黄檗宗の僧侶になったのか?の質問に答えられませんでした。
- ・高石市から女性2人。山口家住宅は以前から知っていたが、清学院を初めて知り来たとの事。
慧海さんに関する所を見る事が出来て嬉しい。さかい利品の杜みみたいな資料館に展示されてもいい偉大な人なのに……。

Bグループ (西岡 英彰)

***南宗寺 (担当：中西慎・澤野・大橋)**

- ・東京からの女性。「京都に宿泊し、友人は京都に行ったが私は堺を知りたくてチン電一日切符で来た。次回は堺泊でゆっくり堺を回りたい」との事。妙國寺拝観もお勧めした。
- ・平野区からの祖父・父・小学生の3人。父親と祖父は説明する度に「凄い、凄い」の連発で来て良かったと云って頂く。蚊が多く蒸し暑かったが、喜んで頂き良かったです。

***妙國寺 (担当：小出・箕野・中辻)**

- ・堺市の男性。堺事件に大変興味があり、趣味で堺事件に付いて書き綴っておられるようです。
辞世の句の前でじっくり時間を掛けて眺めておられました。
- ・泉陽高校生とその母親。高校のPTAで「妙國寺に来たい」と云う話があるので下調べに来た、との事。情報が多過ぎる位あり、「期待した以上でした」との事でした。

***堺伝統産業会館 (担当：奥野)**

- ・堺市内の60歳代夫婦。時節柄、遠くにいけないので「広報さかい」に手すき昆布実演記事があり、立ち寄った。火縄銃銃身の美術工芸技術にも興味を持たれていた。
- ・京都のご夫婦。展示の「大はさみ(四条常信)」の話で、「今も京都四条には『常』が付く刃物屋さんが何軒かあります」との事。古墳、昆布、線香の説明に「また一つ利口になりました」と言われました。

***自転車博物館 (担当：溝・吉田)**

- ・男性1人(50~60代)。最初ガイド不要と仰って入っていったが、気持ちが変わったのか戻ってきてガイド依頼される。
やはりガイドして貰って展示の内容が良く理解出来て良かったと喜ばれた。
- ・吹田市からの家族連れ(両親と男児)。未来の自転車の在り方を探りたいとの研究テーマで来観。展示車ひとつひとつの詳細な説明を希望され、熱心に聞かれていた。

ツアーガイド部 ニュース

☆ 10月の堺自転車ツアー

10月11日(日) 9時に大仙公園第3駐車場前に集合
「西高野街道～天野街道～金剛寺」を自転車で訪ねます。雨天中止です。

☆ ボランティアガイドと歩こう!

身近なコースを案内します。

10月18日(日)10時 展望ロビーを出発し、開口神社～利休屋敷跡など

10月28日(水)10時 仁徳天皇陵古墳拝所前～

大仙公園内古墳～履中陵ビュースポット

☆ 第39回堺新発見ツアー 三好一族の足跡を訪ねる

11月1日(日)10時に南海本線七道駅改札口集合

海船政所～善長寺～妙國寺など

★ 2020年8月度ガイド実施状況

総件数 5件 / ご案内の総人数 21名 / 担当ガイド 9名

感染症対策をしてお案内しました。

ツアーガイド実施報告は19ページに記載しております

広報部 ニュース

★ JA「CROP」関係9月度活動

9月5日(土) 南区檜尾台取材

9月13日(日) 編集会議(山之ロプラザ)

☆ 堺の魅力キャンペーン

10月1日より、堺市民限定の「堺の魅力キャンペーン」がスタートします。
詳しくは同封のチラシをご覧ください。

原稿募集（広報部からのお願い）

広報部では観ボラ協会員の皆様の投稿をお願いしております。
協会ニュースをよりいっそう皆様のものにする為、皆様の堺への
思い・協会への思い・協会活動・ご自身のこと・ウンチク等、
なんでも結構です。

我と思われる方は、広報部員までご相談をお寄せください。



〈インフォメーション〉

☆ 語学同好会のご案内

世界文化遺産“百舌鳥・古市古墳群”他、堺のことを直接自分の言葉で紹介できたら！
あなたのチャレンジ精神を発揮！ご参加を募っています！

会の名称	開催日	開催時間	開催場所
・英会話サークル	10月 14日 (水)	14:00	堺市立国際交流プラザ6階会議室
・韓国語同好会	10月 1日 (木)	13:30	堺市立国際交流プラザ6階会議室
・中国語同好会	10月 22日 (木)	13:45	堺市立国際交流プラザ6階会議室

※ 上記サークルに参加希望の当協会員は、直接会場で申し込みください。

※ ベテランの方も新入会の皆さんも、奮ってご参加ください！

〈ガイド便利MEMO〉

☆ 施設の10月の休館日(休園日)について

新型コロナウイルス感染拡大状況に応じて、臨時休館・休園などとなる可能性があります。
状況にご留意の上、別途ご確認をお願いします。

・山口家住宅・清学院	(休館：毎週火曜日)	6日・13日・20日・27日休館
・堺アルフォンス・ミュシャ館	(休館：毎週月曜日)	5日・12日・19日・26日休館
・日本庭園	(休館：毎週月曜日)	5日・12日・19日・26日休館
・市役所 21階展望ロビー	(無休)	
・堺市博物館・伸庵	(休館：毎週月曜日)	5日・12日・19日・26日休館
* 百舌鳥古墳群シアター・VRは12日・19日・26日も開催されます(5日は完全休館日) *		
* 10月23日～25日は開館40周年記念で観覧料無料 *		
・みはら歴史博物館	(休館：毎週月曜日)	5日・12日・19日・26日休館
・自転車博物館	(休館：毎週月曜日)	5日・12日・19日・26日休館
・フェニーチェ堺	(休館：第1・3月曜日)	5日・19日休館
・堺伝統産業会館	(無休)	
・さかい利晶の杜	(休館：第3火曜日)	20日休館



3か国語でお出迎え



コロナ禍の影響で外国お客様が減っていますが、オリンピック、パラリンピック、2025年の大阪万博を控え、お客様が早く戻ってくるのを期待し語学同好会は頑張っています。



(川上 由)

韓国語 한국



取材に行くとメンバーが元気な声で「アニョハセヨ！」と挨拶してくれました。大変明るい雰囲気です。韓国料理店での会食や、ワーキングホリデーで来日の方との楽しいひと時を過ごした事もあったそうです。楽しくゆっくりをモットーに韓国語を勉強しています。見学大歓迎です。先生は梁さんと永田さんです。



英語 English



WTC 英語サークル、Welcome To Sakai. の略が WTC です。英語好き歴史好きの集まりで、英語で呈茶体験(利品の杜)、各定点での英語実習等を実施しています。大仙での研修では一般会員も入り 20 人で実施した事もありました。今年は「英会話の基本からスタート」として始まりました。皆さん Welcome です。先生は志賀さんです。



中国語 中文



気楽に楽しく、どの月からでも学べます。中国の市民卓球団の観光ガイド、台湾からの留学生を講師に招いたり、堺在住の中国人女性の方と学習もしています。また、一般の方にも開放しています。「簡単だけど必ず使う中国語フレーズ」を身につけませんか？先生は高橋さんです。



《講演会報告》

企画展「蔵のとびらを開いてみれば～鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家」講演会

【北野 しどり】

9月6日(日)13:00より開かれた企画展「蔵のとびらを開いてみれば～堺鉄砲鍛冶屋敷井上関右衛門家」講演会に参加しました。ソーシャルディスタンスの為座席数は限られていてスタッフも含めて参加者は60名でした。国立歴史民俗博物館研究部教授齋藤努先生の「科学の目で見ると火縄銃の銃身」のビデオ講演、そして関西大学名誉教授・兵庫県立歴史博物館館長藪田貫先生の「ここまでわかった！堺の鉄砲鍛冶を支えた人々」の講演でした。



齋藤先生のご専門は文化財化学です。金属の素材分析によって鉄砲をはじめ日本刀、貨幣など日本の歴史にかかわる様々な金属の分析や研究をされています。

鉄には柔らかい鉄と硬い鉄があり、銃身は炭素濃度の低い軟鉄(柔らかい鉄)が使われています。軟鉄は砂鉄を製錬して銑鉄を作ってから、それを大鍛冶で脱炭し、折り返し鍛錬することによりできたものです。また刀鍛冶の刀と鉄砲鍛冶の銃身の鉄に含まれる介在物の鉱物組成の違いを分析され、鉄砲鍛冶の銃身には鉄チタン酸化物が含まれていなかったと説明されていました。大正頃に操業が途絶えた大鍛冶を、操業を記録した論文を元に再現実験をされた様子も詳しく説明がありました。今は色々な装置や器具を使って残されたデータを科学的に分析することができますが、「経験」と「勘」だけで技術を会得していった江戸時代の人々の努力や工夫は大変なものであったらと思います。堺市は齋藤先生に井上家に残された銃身の原材料の鉄の板を預け、化学の目から見た分析を依頼されているそうです。

藪田先生はもう何度も「蔵のとびらを開いてみれば」のテーマで講演をされていますが、その都度平成26年8月31日に愛媛県大洲市で開かれた大洲城復元10周年行事で行われた「井上関右衛門展」の話が出てきます。それをきっかけに発見された井上家の総点数2万点を超える古文書類の調査が開始されていて、そこで明らかになった事実重点を置いての講演でした。

「元禄9(1696)年7月 鉄砲細工人への10か条」では鉄砲は生産管理されている産業であったことがわかります。どのような場合も堺奉行所に届けるために記録していた帳面がたくさん残っていました。それから資料の多さの理由がわかってきました。

また井上関右衛門寿次が明治35年の勸業委員の報告の中に、鉄砲の伝来、大洲藩加藤家とのかかわり、製造品と製造法、堺の鉄砲業の衰退、銃の様式の変化、大坂城内の鉄砲修理、幕末徳川家と大洲侯への大筒献納が書かれていました。別記に「大名の注文状及び雑書類は別に保存あり」とあったことから、この2万点の資料は、偶然でもなく単に手付かずのまま置かれていたということでもなく、きちんと中身を理解して最後の鉄砲鍛冶寿次が残したものであったことがわかりました。



鉄砲鍛冶下職関係の「通」はたくさん残されていて、それには鉄砲鍛冶と台師、金具師、鋳型師、象眼師等の下職とのやり取りが示され、下職が鉄砲鍛冶から資金を前借し、

製作・納品ののちに定期的に清算していた過程、また鉄砲製造における分業体制の具体的な在り方が解明できてきました。「年中定式吉礼控」は幕末から明治25年までの井上家の人間関係、家屋敷の空間構成などが細かく残されていました。

空襲にも会わず戦後70年たって出てきた2万点にも及ぶ他に類を見ないこの資料は、最後の鉄砲鍛冶である井上関右衛門寿次が残したものであって、偶然に残っていたものではないということ。また堺の鉄砲産業のありさまを明らかにするだけでなく、日本の鉄砲生産の歴史を書き換える、質・量ともに第一級の資料であることを強調されていました。

歴代の井上関右衛門が守り伝えた鉄砲鍛冶屋敷が（仮）鉄砲鍛冶屋敷ミュージアムに生まれ変わろうとしています。どんな施設になるのか期待で胸がいっぱいです。資料の解明はまだまだ時間がかかります。どんどん新たな事実が解明されるでしょう。そのことにも関心を持ちながらミュージアムのオープンを楽しみに待ちたいと思います。

《全体研修会報告》

「明治時代以降の古墳保護のあゆみ」研修に参加しました

【菊谷すみ子】

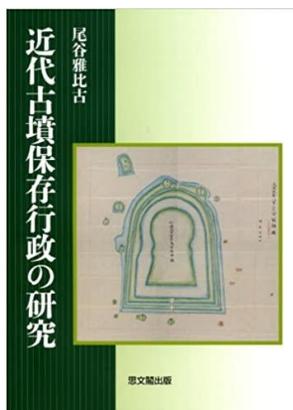
講師の尾谷雅比古先生は学生時代に泉北で須恵器の発掘調査に参加されていたとのこと。その後、大阪文化財センター・河内長野市教育委員会で文化財行政を担当され博士号を取られて、現在は関西大学ほかで講師をされておられます。



研修では万世一系を掲げる近代天皇制を軸とした統治を日本各地で簡単に

目に見える形にして示すために、国家の施策として陵墓を含む古墳を研究して保護することを、中央・地方の行政が行ってきたというお話を聞きました。国防の観点から、明治憲法発布までになんとか全天皇陵を定めろ、という分かりやすい政治的な期限があったというお話はドキュメンタリーを見ているように想像しやすかったです。

また、私たちに馴染みの深い仁徳天皇陵古墳の陪冢と思われる塚廻古墳・収塚古墳・長塚古墳の所有者が政府に種々の要請をし、結果的に現在はそれぞれ史跡に指定されて残っているエピソードも興味深かったです。



資料の中の漢字とカタカナの戦前の法律条文は、1人で読むのはなかなか気合が必要な感じでしたが、先生がさらりと読んでくださるととても分かりやすかったです。ビデオ録画して下さっていたので、参加できなかった方も視聴ができるといいですね。

色々と困難な時期に研修を準備下さった皆様に感謝しつつ、また以前のように皆一緒に学べる状況になることを心から祈ります。

※左の図書は研修時にご紹介のあったものです。尾谷先生のご研究を詳しく知りたい方にお勧めとのことです。

《トピックス》

『南蛮資料から見る堺と天下人』～イエズス会宣教師の活躍・三好時代1～

【小川 正夫】

南蛮資料の主演は、大航海時代に西欧から見て地の果てであった「新世界」を目指して、風と潮という当てにならない自然の動力しか持たない帆船で、何万里の過酷な航海の末、未知の異国にたどり着き、そこで生涯を終えた男たち、宣教師です。

イエズス会という最も新しい修道士会は、十字軍の失敗、プロテスタントというライバルに圧されるローマカトリック教会にとって失地回復の「新世界」アジアへの布教開拓の先鋒を務める若い集団でした。

皆さんご承知のザビエルは、イエズス会創立メンバーで、初代総長ロヨラの朋友でもある会の重鎮ですが、ポルトガル王国がアジア進出の要としたインドのゴアに派遣され、アジアでの布教を任せられます。彼がゴアに着いたのは1543年5月で、奇しくも種子島にポルトガル人が鉄砲を携えて漂着し、ポルトガル人が日本という国を初めて知った年でした。地の果てアジアで4年間必死の苦労を重ねましたが、布教は思うに任せず、行き詰ったザビエルの前に現れたのが、日本からの脱国者アンジローでした。日本人の資質がインドやマラッカの人種と全く異なることに驚いた彼は、1548年1月22日付ロヨラ総長宛書簡で「インドでの布教は難しく、日本に行くしかない」と書き送っており、追い詰められた末の判断であったことが分かります。ザビエルは期待に胸はずませて日本に着き、島津氏など交易を求める大名達に受け入れられ、在日三か月後の1549年11月5日付マラッカ長官宛の有名な「日本中の金と銀が集まるまち堺」の報告をします。「堺にポルトガル商館を置き、自分に託せば莫大な利益を上げることができる」とポルトガル商船の誘致に必死な姿から、キリスト教布教のためにはポルトガルと日本との交易が必須であったことが伺えます。



イエズス会紋章

西欧人と初めて接する伝統的文明国である日本人が、人間とも思えなかった「南蛮人」の異質の宗教集団を容易に受け入れたのは、日本人特有の好奇心の高さ（知識欲）と、交易という現実的な欲求があったからで、特に西国の大名達にとっては外国との交易は大きな魅力で、ポルトガル人たちの来航は歓迎すべきことでした。

ザビエルは、翌年待望のポルトガル船が入港する平戸に拠点を移し、勇躍日本の国王から布教の許可を得るため都に向かいます。しかし時あたかも三好長慶が将軍義春・義輝父子と細川晴元等、亡き父元長の仇敵を都から追い畿内の実権を握った頃で、都には「公方（将軍）」も不在、「内裏（御所）」は塀も破れたままの荒廃したありさまでした。ザビエルは失意のまま都を去りますが、当時「西の京」と云われた大内義隆の支配する山口と、北九州一体の守護である大友義鎮（宗麟）の支配地豊後に布教の拠点を置くよう、一緒に来日したトルレスに後を託し、自らは2年余りの短い滞在で日本を去ります。ゴアに戻った翌年（1552年）には中国（明）への布教を目指しますが、明に入国することすらできずマカオの南海上の上川（サンシャン）島で病を得て56年の生涯を閉じました。彼が日本から中国に目標を切り変えたのは、戦乱の巷である日本と比べて鎖国状態ではあるが平和で安定した大帝国であること、日本人が仏教を受け入れたのは中国からであり、キリスト教を日本に広めるにはまず中国からと思ったからでした。（ロヨラ総長宛 1552年1月29日付書簡「シナ人がデウスの教を奉じたるを聞かば、日本人は諸宗派の膠見を速やかに棄つべし」）

後継者トルレスは日本の布教長として山口、豊後に布教の拠点を築こうとしますが、大内氏の滅亡で山口を追われ、残る豊後を中心とする九州で信徒の拡大を図りました。イエズス会の布教戦略はトップダウンで、国々の領主をキリシタンにするか少なくともシンパとすることにより、支配者に対し従順な日本人領民がキリシタンを受け入れ易い環境をつくることでした。

トルレスは大友宗麟の庇護のもと北九州に信徒を拡大し、豊後はイエズス会の布教本部となります。

(利晶の杜のテイセラの日本図の九州の部分が大きく BVNGO と記されているのはそのためです)

1558年、幕府を都から追い畿内を制覇していた天下人三好長慶が、将軍義輝を都に戻し幕府が復活すると、いよいよイエズス会の畿内進出が始まります。(続く)



参考文献 『ザビエルの同伴者アンジロー』岸野 久 著 吉川弘文館

『フロイス日本史五畿内編1・II』松田毅一/川崎桃太 訳 中央公論社

《トピックス》

堺産自転車タクシーによる観光周遊がスタート！

【和田 千香】

風を感じることができる心地よいスピードで旧市街地「環濠エリア」内の堺の名所を巡ります。自転車のまち堺ならではの「新しい堺の観光」を楽しめます。運行は9月5日から11月29日(土・日・祝のみ)までの期間です。

運行初日の9月5日には開会式が開催されました。永藤英機堺市長、葛村和正堺商工会議所会頭をはじめとする来賓の方々の挨拶からはじまり、テープカット、そして最後に自転車タクシー送り出しを



行いました。

「永藤市長、葛村会長、行ってらっしゃい。」と声をかけると、笑顔で手を振って下さいました。周りでは、「乗りたいね。」との声が飛び交っていました。堺市民の方は特別割引料金で乗車できるので、このチャンスをお見逃しなく！(葛村会長はトップ面で紹介した株式会社ダイネツの会長です。)

《あ・ら・かると》

「戦国体験ワークショップ」レポート

【山本 萬寿美】



「戦国時代のサムライになりきる歴史体験ワークショップ」。8月29日、何かワクワクするようなサブタイトルに誘われて利晶の杜へ。参加した子供達は衣装を纏い、さながら「赤胴鈴之助」…いや、今なら「るろうに剣心」の緋村剣心でしょうか。指導をしてくださるのは俳優/日本殺陣道協会の永原 亨師範。まずは、殺陣師としての「殺陣は魅せるためのもの」という心得やルールをお話いただき、模造刀を脇に差して、足運び、刀の抜き差し、刀の構え方、斬り方、斬られ方といった基本の立ち

回りの指導を受けました。みんなカッコいいです。

江戸時代の侍は必ず左腰に刀を差していたそうです。武術的な理由は、相手の左側の心臓を突くには右手で刀を抜いた方が早いからだそうです。刀は武士の魂ともいわれる神聖なものです。他人の鞆が触れただけで喧嘩勃発の可能性もあるほどです。江戸時代は左側通行だったので、行き交う人の鞆と鞆が当たらないようにすべて左側に刀を差したそうです。時代劇にも当時の刀の使い方のヒントが隠されています。日本の時代劇の名作はたくさんありますが、「暴れん坊将軍」の將軍吉宗や「水戸黄門」の助さんが刀を抜く時に「カチャッ」という音とともに手元がアップになるのはご存知でしょうか？ 実はこれは抜いた刀の向きを変える仕草なんです。切れる刃を使わず背面で相手をたたいて戦う「峰打ち」という剣術だそうです。

「安心しろ、峰打ちじゃ」や黄門さんの「助さん、格さん懲らしめてやりなさい」という決まり文句は「斬りませんよ～。峰打ちです」という意味が隠れているようです。將軍吉宗は峰打ちで痛めつけたあと「成敗！」の一言で任務終了。どうやら高貴な人は自らの刀を血に染めず、とどめはお庭番に任せるのだとか。

そしてこれらの時代劇がいかに人々を魅了するかは「殺陣師」の方々の美しい殺陣の演技にかかっています。日本の誇れる技術です。ちょっと角度をかえて殺陣師の方々の動きや歴史的背景を気にしながら時代劇をみるのも楽しいですね。約1時間、子供達の楽しそうな様子をみながら「チャンバラごっこ」をしていた遠い昔を思い出していました。



「撮るさかい、見てある記」(JA 月間情報誌「CROP」) こぼれ話 (その5)

北区・堺区 東雲町周辺 (「CROP」2019年6月号掲載より)

「動物によせる温かい眼差し」 【柿澤 和代】

サンスクエア堺の後方に建つ「堺市動物指導センター」(元 狂犬予防管理センター) いつもそうだが、アポもなく突然の取材! 扉を開くと黒い小型犬が一心不乱に尻尾を振って私たちを向かえてくれた。新しい飼い主が現れたとき、少しでも人に慣れさそうと室内で訓練しているという。

どんな事情で、このセンターに来たのか聞かなかったが、チビ黒君、いまは新しい飼い主が見つかって幸せに暮らしているだろうか?

「ペットと市民がともに生きていく良好な社会を築きたい」と語る職員の方々の動物によせる眼差しの温かさ、やさしさが今も忘れられない。



「天空を染めて栄える東雲町」
東雲公園から望むベルマージュ堺

《写真ニュース》

諏訪の森旧駅舎の再出発

【川上 由】

南海電鉄の高架化に伴って昨年5月で営業を終えた諏訪の森旧駅舎が地域の交流施設として生まれ変わりました。レトロな外観と美しいステンドグラスはそのままです。

同駅舎は大正8年(1919年)に完成。5枚のステンドグラスは浜寺からの景色を描いています。

お近くに来られた時は、是非ともお立ち寄りください。



☆2020年(令和2年)10月度 月間予定表

日	曜	行 事	時 間	場 所
1	木			
2	金			
3	土	第38回堺新発見ツアー	10:00	JR堺市駅改札口
4	日	J A「CROP」堺区新在家町取材	9:00	阪堺線寺地町集合
5	月	運営委員会	14:00	PCメール
6	火	定点ガイド部Aグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
7	水	定点ガイド部Bグループ会議	9:30	堺市総合福祉会館
8	木	ツアーガイド部会議(見学可)	13:30	フェニーチェ堺
9	金	企画部会議(見学可)	10:00	福祉会館
		事業部会議(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館
10	土			
11	日	堺自転車ツアー(西高野街道～金剛寺)	9:00	大仙公園第3駐車場前
		J A「CROP」編集会議	14:00	山之ロプラザ
12	月			
13	火	定点ガイド部全体会議(見学可)	9:30	利晶の杜講座室
14	水			
15	木	協会ニュース11月号原稿締切り(広報部)		
16	金	総務部部会(見学可)	10:00	堺市総合福祉会館
		広報部会議(見学可)	10:00	堺市総合福祉会館
		研修部会(見学可)	14:00	堺市総合福祉会館
17	土			
18	日			
19	月	部長会	9:30	堺市総合福祉会館第2会議室
20	火	堺観光情報連絡会	10:30	市役所高層館2階
21	水			
22	木			
23	金			
24	土			
25	日			
26	月	協会ニュース2020年11月号発行作業	10:00	観ボラオフィス
27	火			
28	水			
29	木			
30	金			
31	土			
【予告】				

8月度 ツアーガイド実施報告

日	曜日	団体名	時間	人数	担当ガイド	移動方法	案内場所	
9	日	堺観光コンベンション協会 JR 百舌鳥古墳群めぐり	10:30 12:30	5	長尾 山下	徒歩	御廟山 いたすけ 履中陵ビュー 大仙公園 仁徳陵	
		<p>暑さにめげず元気な老人2名と会員1名の3人でした。古いものが好きでと言われるご夫婦。貝塚市から参加。古市古墳群も自らの足で探索したとの事。今回も自転車で巡る予定で来たところ案内付きの「古墳めぐり」があることを知り参加した由。歴史についても知識が豊富で、古墳の大きさ、形を実感して頂くように歩きました。「楽しかった」と言って頂きました。午後は博物館の見学を勧め予定されました。</p> <p>途中、大事にしておられた「秋田犬」のぬいぐるみを落とされたことに気付かれ探しにバック(博物館前から公園の藤棚のところまで。奥さんはマラソンにも参加される由)されたが、ゆっくり歩いて時間内に終了しました。熱中症対策に「塩分12%の小梅」を用意していました。「塩分を感じない」と食していただき猛暑の中での古墳めぐりを無事終了しました。</p>						
		堺自転車ツアー	9:00 10:40	3	中村博	自転車	仁徳陵 ビュースポット 履中陵 いたすけ古墳 御廟山古墳 御廟表塚古墳 反正天皇陵	
<p>今日は朝から暑さ厳しく、古墳の案内は日陰で短くするように心がけました。水分補給を勧め、早めに終わりました。</p>								
23	日	堺観光コンベンション協会 JR 百舌鳥古墳群めぐり	10:30 12:15	5	林 平岡	徒歩	御廟山 いたすけ 履中陵ビュー 大仙公園 仁徳陵	
		<p>参加は5名でした。3人と2人の2グループに分かれて、古墳めぐりをしました。2人のグループの1人は、和泉府中から参加の男性でした。いつも阪和線から古墳群の一部を見ていらっしゃるそうです。「今日は“真正面”からじっくりと見たい」とのことで暑い中参加されました。熱中症対策で途中”日陰”を見つけ、3回水分補給休憩を行いました。全員、最後の仁徳陵まで楽しく回って頂いたと思います。帰りにはお土産を求めて帰って行かれました。名古屋からの親子3名は猛暑の中、高齢のお母様の体調を気遣いながら木陰の休憩と水分補給を十分に摂って最後まで楽しく古墳を巡りました。</p>						
28	金	名古屋名駅ロータリークラブ マスターズ 山歩会	11:20 16:00	4	森口 岡本匡	徒歩	妙國寺 伝産 清学院 山口家 覚応寺反正陵 本願寺別院 境王子方違神社天王貯水池	
		<p>降雨の為、名古屋市出発の電車が30分遅れ、時間の関係で珍しく一部の方は歩きながらの昼食となりました。よく山歩きをされる方で、慣れていらっしゃる様です。 案内のお陰で堺の事がよく分かったが、街歩きが山歩きよりきついとおっしゃっていました。</p>						
29	土	名古屋名駅ロータリークラブ マスターズ 山歩会	9:15 14:50	4	寺口 石川幸	タクシー	仁徳陵 博物館 緑化センター 履中ビュー いたすけ 御廟山 百舌鳥八幡 ニサンザイ 御廟表塚古墳	
		<p>カンカン照り猛暑日です。お客様にとって堺は2日目です。本来は今日もウォークの予定でしたが前日のウォークの疲れで今日はタクシーに変更されました。ちょっと助かりました。 気温 37℃の中での古墳巡りです。汗びっしょりのガイドでした。タクシーに変更となり行程票より早く終わりましたが堺を満喫された様でした。</p>						

編集後記

やつと、やつと
 のことで猛暑が去
 っていききました。
 皆様、ご苦勞様で
 した。
 我が家の電力メ
 ーターもその足取り
 を緩めてくれまし
 た。
 観ボラニュース
 を編集して、
 いつも思います。
 皆様のご期待に添
 えているのか？皆
 様に支持されてい
 るのか？・・・と。
 答えは「分かり
 ません」です。
 読者さんからの
 意見・感想が届け
 ば答えを探せるか
 もしれません。
 とツブヤク。
 【住谷多喜男】

2020年8月度 活動実績と内容

<会員の活動実績>

正会員数	244
会員活動参加者数	203
会員活動非参加者数	41

定点 ガイド 活動	定点案内所活動数	1065
	事務局・ガイド活動数	110
	展望ロビー・学童ガイド活動数	0
	小計	1175

ツアーガイド	ガイド担当者・打合せ者数	20
--------	--------------	----

その他	会議・研修会・勉強会参加者数	16
	イベント参加者数	10
	打ち合わせ他参加者数	163
	小計	189

会員活動合計(定点ガイド活動+ツアーガイド+その他)	1,384
----------------------------	-------

開催日	その他活動の主な内容	
8月15日	部長会：堺市総合福祉会館	
8月18日	観光情報連絡会：市役所	

<来客数実績>

定点案内所		定点人数(名)
市役所展望ロビー	一般	0
	学童・先生	0
大仙エリア		2,095
南宗寺		229
山口家住宅		232
清学院		144
利休屋敷跡		796
妙國寺		110
自転車博物館		208
伝統産業会館		413
さかい利晶の杜		1,154
ミニツアー		0
定点ガイド合計		5,381

定点ガイド合計	5,381
ツアーガイド合計	21
文化財特別公開など	0
ご案内人数合計	5,402

2020年度のご案内人数	12,701
--------------	--------

当協会の創設(平成7年4月)以来のご案内人数合計	2,567,590
--------------------------	-----------